

会議名	<p>匠瑛市版生涯活躍のまち形成事業 平成 29 年度 第 1 回 飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録</p>	
日 時	平成 29 年 10 月 7 日(土) 14 時～16 時	
出席者	<p>■協議会委員</p> <p>井上峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 村井康佑 匠瑛市豊栄地区シニアクラブ会長 代理出席 飯島長男 鈴木弘 匠瑛市シルバー人材センター会長 栗山恭典 千葉興業銀行法人戦略部長代理 代理出席 柴田実 千葉興業銀行八日市場支店長 守正英 匠瑛市介護事業者連絡会長 代理出席 三橋直美 加瀬功一 匠瑛市ボランティア連絡協議会長 増田利夫 豊栄地区社会福祉協議会会長 片岡正勝 豊栄地区区長会長 椎名英夫 幼稚園・保育園運営者代表 伊東健爾 須賀地区区長会長 大久保彰彦 八日市場青年会議所社会開発委員会担当副理事長</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸美代 専務理事 鈴木敦子 事務長 株式会社ローカルファースト研究所 関幸子、林雅孝</p> <p>■オブザーバー</p> <p>大木寛幸 匠瑛市 企画課長 林雅之 匠瑛市 企画課まちづくり戦略室長</p>	
議事録	事務局	<p>1 開会 開会のあいさつを行った。</p>
	事務局	<p>2 委員紹介 委員より自己紹介を行った。</p>
	事務局	<p>3 飯倉駅前地区まちづくり協議会について (1) 役員の選任について</p>

	<p>飯倉駅前地区まちづくり協議会規約第4条4項、6項により、 会長 井上峰夫 監事 栗山恭典 増田利夫 の3名が選任された。 また飯倉駅前地区まちづくり協議会規約第4条5項により、井上 会長より、 副会長 加瀬功一 が指名された。</p>
事務局	<p>(2) 専門部会について 飯倉駅前地区まちづくり協議会規約第8条2項3項により、井上 会長より、 専門部会部会員 井上峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 加瀬功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 栗山恭典 千葉興業銀行法人戦略部長代理 松本理 前豊栄地区区長会長 鈴木勝也 株式会社ベネフィット社長 大久保彰彦 八日市場青年会議所社会開発委員会担当副理事長 専門部会部会長 加瀬功一 専門部会副部会長 松本理 が指名がされた。</p>
事務局	<p>4 議事 (1) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業の説明 「資料1 事業計画案(平成29年3月、飯倉駅前地区まちづくり 協議会作成)」「資料2 事業計画書 骨子(目次案)」について説 明(要点のみ)。 以下のような骨子に従って、事業計画を作成する。 第1章 生涯活躍のまち(日本版 CCRC)制度の概要 1 国の制度・目指す方向 2 国が示す具体像(共通項目・選択項目) 第2章 匝瑳市の現状と課題</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 1 分野別現状 <ul style="list-style-type: none"> (1) 人口 (2) 産業 (3) 医療・福祉 2 課題とりまとめ 第3章 匝瑳市版生涯活躍のまち事業計画 <ul style="list-style-type: none"> 1 事業計画策定の目的 2 対象区域 <ul style="list-style-type: none"> (1) 対象区域概要 (2) 事業地概要 3 計画期間 4 計画策定手法 5 匝瑳市版生涯活躍のまちなちの目指す姿 6 基本コンセプト 7 目標数値 第4章 具体的事業 <ul style="list-style-type: none"> 1 移住促進に向けた取組の方向 2 対象地域、拠点整備の考え 3 導入機能 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子育てゾーン (2) まちなち居住ゾーン (3) 高齢者福祉ゾーン (4) 交流ゾーン 第5章 事業主体と官民連携 <ul style="list-style-type: none"> 1 多様な主体の連携による運営体制の構築 2 官民連携の推進 第6章 計画日程 <ul style="list-style-type: none"> 1 事業計画日程 第7章 策定経過 <p>匝瑳市から、背景等について補足の説明をする。</p> <p>人口減少の対策として匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、平成 72 年に 55%減少し 16,815 人になると推計された人口を 22,000 人におさえるという目標を作った。</p> <p>目標を達成するため、九十九里ホームを中心とした、生涯活躍のまち形成事業を実施し、都市部から人を呼び込むためのマーケテ</p>
--	--	--

		<p>ィング調査、プロモーション活動、移住者の支援と幅広い事業を行っていく。その事業の事業計画を作るため、飯倉駅前地区まちづくり協議会において協議を行っていただく。匝瑳市も九十九里ホームと緊密に連携して各種支援を行い生涯活躍のまちをともに推進していく。</p>																							
井上会長		<p>ここまでのところでご意見をお願いします。</p>																							
A 委員		<p>人口減少だからと悲観的になる必要はない。1人単価が上がれば問題ない。</p>																							
B 委員		<p>実際に人口が減ることは止められない。子育ての環境を良くすることは絶対条件。全体が増えることはないと思う。だから、認定こども園を先にして随時あとの事業も進めてほしい。</p>																							
C 委員		<p>地域で人口減少を止めようとする仕事をしたいと思う元気なお年寄りが増えればよい。産業などで若い人の手助けを高齢者もする。健康でお互いに助け合いながら。お年寄りは引きこもることが多いため表に出してあげたい。</p>																							
D 委員		<p>高齢者の立場で考えた場合、一人暮らしや二人暮らしなど年寄りだけの暮らしを改善する。離れてしまった若い人を呼び戻す対策が大事だと思う。</p>																							
井上会長		<p>(2) 匝瑳市版生涯活躍のまち事業計画 策定スケジュール 「資料3 匝瑳市版生涯活躍のまち事業計画 策定スケジュール」 について事務局から説明をお願いします。</p>																							
事務局		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>協議会</th> <th>専門部会</th> <th>事務局</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">10月</td> <td>7日</td> <td>第1回協議会</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>マーケティング調査</td> </tr> <tr> <td>28日</td> <td>第2回協議会</td> <td>第1回専門部会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>マーケティング調査</td> </tr> </tbody> </table>			協議会	専門部会	事務局	10月	7日	第1回協議会						マーケティング調査	28日	第2回協議会	第1回専門部会		11月				マーケティング調査
		協議会	専門部会	事務局																					
10月	7日	第1回協議会																							
				マーケティング調査																					
	28日	第2回協議会	第1回専門部会																						
11月				マーケティング調査																					

		25日	第3回 協議会	第2回 専門部会	
	12月	16日	第4回 協議会	第3回 専門部会	
	1月	20日	第5回 協議会		意見交換会
	2月	10日			住民説明会
		24日	第6回 協議会		
	3月				
井上会長	<p>(3) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業アンケート調査の進め方 事務局から「資料4 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業アンケート調査」について説明をお願いします。</p>				
事務局	<p>(要点のみ記載)</p> <p>① アンケートのねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 東京都からの「潜在的な移住」「二地域居住」「長期滞在意向」の把握 ■ 千葉県内・周辺市町村からの「二地域居住」「長期滞在意向」「住替意向」の把握 ■ 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業への関心、匝瑳市版 CCRC に求められる付加価値の把握 ■ 東京都在住の千葉県出身者に対して、千葉県から転出した背景やUターン意向について把握 ■ 移住者の開拓について、アプローチ先や効果的なPR手法を把握 <p>② 調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ インターネットを活用したWeb調査 ■ アンケート会社のリサーチモニタから、東京都在住、千葉県内在住者から抽出 ■ スクリーニング調査を実施し、本調査を行う 				

	<p>■調査は Web で配信し、Web で回収する</p> <p>③調査対象の捉え方</p> <p>■調査対象を「千葉県出身者」「東京都から周辺地域への移住希望者」「千葉県内在住者」の三分類に分け、合計で 1,000 人の回答を見込む</p> <p>■それぞれスクリーニングを行い、調査対象を絞り込む</p>
井上会長	Web 調査とはどのように行うのか。
事務局	アンケート会社に登録している人の中から条件に合う人に対して、アンケートに回答してもらいメールを送り了承を得たら、インターネットの Web 画面を見てアンケートに回答してもらう。
E 委員	Web 調査の特徴・効果・利点は何か。
事務局	アンケートの回収と集計が早い。回答者の負担が軽い。
E 委員	Web 調査を活かしての実績があるのか。
事務局	事業計画を作るときに Web 調査を多用している。(株式会社ローカルファースト研究所では)2014 年以降 15 自治体の事業計画を作っているが、社会調査は Web 調査で行っている。Web 調査でないと対象者を探すことが大変。ピンポイントでアンケート調査を行う場合は回答率も高まる。
E 委員	Web 調査で匝瑳市の魅力を伝えられるのか。
事務局	場所のイメージやビジュアルについて追加している。何が、移住定住のきっかけになるのか要因を調べる。匝瑳市についてそこまで詳細に書き込まなくても今回の調査項目はとれるようにアンケートを作っている。
E 委員	移住希望があるかどうかをとりたい。必ずしも匝瑳市だけではないのか。
事務局	何が移住定住のきっかけになるのかを把握することで、事業の中

		に魅力的な機能を導入していきたい。
F 委員		アンケートと同時に、千葉県内の移住が多い地域のきっかけとなった移住理由をとれば、よりアンケートの精度が上がると思う。消滅可能性都市を回避している地域は若い人たちの雇用がしっかりしている。爆発した独自性がないとしっかりとした移住につながるのは難しい。そのあたりはどのように考えているのか。
事務局		若い人たちの移住が地域を支える。生涯活躍のまちはミドルからシニアの方たちを対象に移住定住政策を行う。若い人たちも含めて移住定住戦略をとりたい場合は、幅広い項目でアンケートをとる。
匝瑳市		匝瑳市の生涯活躍のまち形成事業の特徴は広い世代の交流。他の地域と違うことは、認定こども園が事業地の一角にあること。アンケートの対象年代が 30 代～70 代であるので各世代の考え方も、ある程度見ることができる。必要に応じて質問の中に認定こども園のことも入れられたらよいと思う。
G 委員		問題を理解するところで、まだ問題意識までっていない。
B 委員		若い人たちが活躍できるまち。例えば、住宅や仕事に絡まってくる。ただ人口が増えても発展性はない。そのあたりも調査してもらえるとよい。
H 委員		どのようなアンケートになるのかまだ理解できない。
井上会長		質問の選択肢が多いのではないか。
事務局		優先順位を 5 つくらいに決めてつけてもらう。選定のポイントをカテゴリーに分けて集約する。
E 委員		アンケートの集計にはどれくらいかかるのか。
事務局		集計結果は 1 週間あれば出る。
E 委員		議論の土台になる可能性があるものだが、1 週間で出た結果が信

		用できるのか。ある程度の精度が必要。そのあたりはどのように考えているのか。
G 委員		アンケートの項目が細かいと自分たちが必要としている内容がわかるが、回答者が疲れてしまうのではないか。Web 調査でのアンケートの回答率はどれくらいあるのか。また無回答はどのくらいあるのか。
事務局		回答しないと次の設問には進めないようになっている。しっかりと回答した人のみがサンプルとして回収されるため、無回答というサンプルはない。
I 委員		リサーチ会社のモニターは相当数いるのか。サンプル数は 1,000 だが、統計として数は問題ないのか。
事務局		社会調査は最低 500 から。1,000 サンプルあれば社会調査として数値はクリアしている。
F 委員		アンケートをとり最終的な目標は匝瑳市への移住をしてもらうことだと思う。その際に雇用、医療の充実、子育て支援制度の部分が多くなる。生活の基盤と雇用・経済の基盤が確立していることを訴える必要があるのでは。移住定住者を呼び込むきっかけになると思う。そのあたりはどう考えているのか。
事務局		匝瑳市の移住支援メニュー、匝瑳市の移住戦略は提示した上で、アンケートに回答してもらう。
F 委員		支援の金額が出ているが比較対象が無いことから、地域で何番目なのかなどの集計データがあれば活用してほしい。
事務局		家賃の平均単価の比較など市役所が持っていれば、資料として活用する。早めに意見を反映し作り替えたものを確認してもらうようにする。10月28日にはアンケート調査が終了し、資料として何が移住のきっかけになるのかについて議論してもらう。
井上会長	5	その他について

	その他、何か意見・質問・要望などがあれば。
E 委員	スケジュールにある自治体へのヒアリング調査はどのように行うのか。
事務局	23 区の東部にある葛飾区、江戸川区などの高齢者福祉担当にヒアリングを行いたい旨を伝え、日程調整中である。九十九里ホーム、匝瑳市、事務局でヒアリングに伺う。自治体の福祉政策を聞きに行く。
E 委員	非常に興味がある。わかりました。
I 委員	週刊誌に移住のハードルが低い地域、移住しやすいまちに千葉県 の匝瑳市と旭市が選ばれ評価されている。雑誌 AERA に掲載。匝 瑳市が作った総合戦略の評価が高かったのではないかと。取り組み としては高い。マスメディアは評価している。あとは、どのよう にプロモーションできるか。
F 委員	青年会議所全体の副議長として来年度は日本創成会議に出向す る。その中で色々なモデルケースを調査している。生涯活躍のま ちの実績を本で出版する。日本には様々な事例があるため、色々 な形で見ることよと思う。
J 委員	いかに利用者を増やすかというところが大事ではないか。
C 委員	移住者は現在住んでいるマンション等を離れて移住することへ の条件がそろわない。地域の受け入れ態勢がなかなか難しい。移 住した人たちに仕事の斡旋ができたりするとよいのではないかと。 親の介護で奥さんは来ないで旦那さんだけがやって帰るような こともある。住民が来やすい雰囲気を作っていく必要がある。
井上会長	近所付き合いをよくするということ。
K 委員	旦那さんだけが帰ってきて親の介護をするケースは多い。
B 委員	飯倉地区の開発と合わせて匝瑳市で若い人たちが活躍できるよう

		に、別の角度で全市にわたって活動してもらえるとありがたい。
匝瑳市		今回の事業は、事業地についての計画。市としては、市全体の計画を立てることにしている。九十九里ホームが主体となって行う今回の事業は、市ではモデル事業として考えている。「生涯活躍のまち」には多様な形がある。九十九里ホームの事業は「生涯活躍のまち」の一部の機能。市としては、他の地域でも生涯活躍のまちを推進するうえで市全体の計画を並行して作ろうとしている。このモデル事業が成功してもらいたい。
H 委員		サービス付き高齢者住宅は高齢者を対象としているから、この地域で入居者が働く場として募集はしていないですね。
井上会長		ある程度は要介護者。ある程度は家庭菜園や子供と遊んで元気で過ごしたい人もいると思う。
H 委員		そのような人たちの活躍できる場を作りたいということでしょうか。
井上会長		そうです。次回以降、実際にどのようなものがあれば活躍できるのか、魅力的になるかということを話し合いたい。
H 委員		今のところ、幾つ位からという考えはあるのか。
井上会長		50 歳目安でやっている。
A 委員		これからは人生 100 年時代である。100 歳まで元気に頑張るという時代。高齢者が元気で働ける場所は大事なのではないかと思う。色々な仕事を創出してくればよい。お年寄りが元気なことはよいこと。若い人は人口のボリュームがない。高齢者が頑張れる場はまだあると思っているので、この事業には期待している。
井上会長		6 閉会 今回は、10 月 28 日。専門部会が 13 時から、協議会が 14 時半から。これからも引き続き協力お願いします。何かあれば、九十九里ホームの法人本部に連絡ください。

